

1. 大阪市 2. 札幌市 3. 金沢市 4. 宮崎市

[illegible]

1. オホーツク海 2. 東シナ海 3. 日本海 4. 太平洋

1. 十勝平野 2. 庄内平野 3. 石狩平野 4. 根釧台地

1. 沿岸部と高標高地点を比較すると、一月よりも八月の方が地点間の気温差が小さくなる。
2. 標高が高い地点では、地形の影響で八月の平均気温が二十七度を超える。
3. 稚内市などの沿岸部では、標高が高い地点よりも八月の平均気温が高くなる傾向がある。
4. 稚内市是最北端に位置するため、一月の平均気温は道内で最も低いマイナス十二度を下回る。

1. 海岸付近の流路をあえて蛇行させることで砂浜の浸食を防ぎ、現在は広大な塩田として利用されている。
2. 山間部の流路を直線化したことで大規模な扇状地が形成され、現在は一面の畑地となっている。
3. 河川を完全に埋め立てて住宅地としたため、現在は鉄道を中心とした放射状の道路網が広がっている。
4. 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い基盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。

1. 全域になだらかな丘陵地が続いており、標高の高い山地は存在しない。

2. 中央部に大規模な盆地が存在し、東西の両端にのみ険しい山岳地帯が位置している。

3. 一箇所だけに孤立した高い火山がそびえており、それ以外の大部分は海拔の低い平坦な土地である。

4. 中央部に大雪山系などの標高2000m級の険しい山地が連なり、その両端に平野が広がっている。

1. 太平洋 — カムチャツカ半島沿岸 2. 日本海 — サハリン沿岸 3. オホーツク海 — シベリア沿岸 4. 瀬戸内海 — 中国大陸沿岸

1. 梅雨の時期に湿った空気の影響を強く受けるため、日本海側よりも6月の降水量が多い。

2. 夏に太平洋側から吹き込む冷たく湿った気流の影響で、日本海側よりも夏に晴天の日が少ない。

3. 冬の北西の季節風が山地で遮られるため、日本海側よりも冬の降水（降雪）量が少ない。

4. 暖流の影響を直接受けるため、日本海側の沿岸部よりも冬の気温が高い。

1. 北西からの湿った季節風が、寒流であるリマン海流の上を通る際に冷やされるため。
2. 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。
3. 南東からの湿った季節風が、暖流である対馬海流の上を通る際に温められるため。
4. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である黒潮（日本海流）の上を通る際に温められるため。

1. アイヌ 2. えみし 3. 屯田兵 4. 防人

1. リマン海流（寒流）の影響で冷やされた空気が、太平洋からの湿った風とぶつかるため
2. 小笠原気団の発達により、南からの温かく湿った空気が年間を通じて供給されるため
3. 対馬海流（暖流）の上を通る湿った空気が、北西の季節風によって運ばれてくるため
4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った北東風が、山脈を越えて流れ込むため

1. 世界貿易機関 2. 東南アジア諸国連合 3. コネスコ 4. 国連児童基金

1. 高度な技術力を持つ労働力が集中しており、自動車や精密機械などの組み立て工場が密集しているため
2. 電力供給が安定しており、大規模な電力を必要とする金属の精錬や基礎化学品の製造に向いているため
3. 原材料を海外から輸入し、消費地である関東地方に近い港湾部で加工・輸送するのに適しているため
4. 広大な土地や豊かな海から得られる農水産資源が豊富であり、原材料の調達が容易であるため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 札幌市	北海道に位置する札幌市は、高い緯度の影響で冬の寒さが非常に厳しく、1月の平均気温が氷点下となります。同じ日本海側に位置する金沢市などは、冬の季節風の影響で降水量（降雪量）が非常に多くなりますが、札幌市はそれらの都市と比較すると1月の降水量は少なめの数値を示す特徴があります。
問2	答え 1 海霧	北海道の太平洋側に位置する根室市や釧路市では、夏に発生する「海霧（移流霧）」の影響を強く受けます。暖かく湿った空気が親潮の冷たい海面によって冷やされて発生するこの霧は、長い時には数日間にわたって沿岸部を覆うことがあり、夏場の日照時間を大幅に減少させる直接的な原因となっています。一方、内陸や日本海側に位置する札幌市などはその影響を受けにくいと、日照時間に大きな差が生じます。
問3	答え 1 オホーツク海	北海道の北東側に位置するこの海域は、シベリアのアムール川から流れ込む淡水の影響で塩分濃度が低くなり、冬の厳しい寒さによって海水が凍り、流氷が形成されます。網走や紋別では観光船による流氷見学が盛んであり、知床半島は流氷がもたらす栄養分によって豊かな生態系が保たれていることから世界自然遺産に登録されています。
問4	答え 1 十勝平野	北海道の東部に広がる十勝平野は、1戸あたりの耕地面積が極めて広く、大型機械を活用した大規模な畑作が行われている地域です。選択肢にある石狩平野は稲作、根釧台地は酪農が盛んな地域であり、それぞれの土地利用の特色を区別することが重要です。
問5	答え 3 稚内市などの沿岸部では、標高が高い地点よりも八月の平均気温が高くなる傾向がある。	北海道の八月の平均気温は、高い地点で二十七度、低い地点で十八度となっており、この差には標高が大きく関係しています。稚内市などの沿岸部は標高が低いため、高標高地点に比べると平均気温は高くなります。一方で、一月の気温分布においても差は見られますが、設問のデータに基づくと、夏季における地点間の気温の開きは非常に顕著な特徴として確認できます。
問6	答え 4 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い碁盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。	大正時代などの古い地図に見られる石狩平野は、河川が激しく蛇行し、土地の多くが湿地で橋も少ない状態でした。しかし、現代の状況を示す資料では、治水工事によって流路が直線的に整えられています。これに合わせて、開拓を効率的に進めるために土地が碁盤目状に区画整理され、道路網の整備とともに、分断されていた地域を繋ぐ数多くの橋が架けられるなど、土地利用が高度化しました。
問7	答え 4 中央部に大雪山系などの標高2000m級の険しい山地が連なり、その両端に平野が広がっている。	北海道の中央部には「北海道の屋根」とも呼ばれる大雪山系などの険しい山々が南北に走っています。そのため、石狩平野（西側）から十勝平野（東側）へ向かう断面で見ると、中央付近で標高が2000m近くまで急激に高くなり、両端が低地になるという地形的特徴を示します。
問8	答え 3 オホーツク海 — シベリア沿岸	流氷は、冬にシベリア沿岸で凍った海水が、季節風や海流の影響で成長しながらオホーツク海を南下することで発生します。北海道の北東部に位置するオホーツク海沿岸は、世界的に見ても流氷が到達する緯度が非常に低い地域として知られており、冬特有の自然現象となっています。
問9	答え 3 冬の北西の季節風が山地で遮られるため、日本海側よりも冬の降水（降雪）量が少ない。	北海道の日本海側は冬の季節風の影響で雪が多くなりますが、内陸部は山地によってその湿った空気が遮られるため、雪や雨の量が抑えられます。一方で、内陸部は地表の熱が逃げやすい盆地構造を持つ場所が多く、冬の寒冷な気候は沿岸部よりもいっそう厳しくなるという対照的な特徴を持っています。
問10	答え 2 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。	日本の夏は、小笠原気団から湿った南東の季節風が吹き込みます。この風が、北海道の東の海域を流れる寒流（冷たい海流）である親潮（千島海流）の上を通る際、海面に冷やされて空気中の水蒸気が水滴になることで濃霧が発生します。この霧は日照時間を減少させ、気温の上昇を妨げる要因となります。
問11	答え 1 アイヌ	北海道の地名の多くは、先住民であるアイヌの人々が使用していた「アイヌ語」に由来しています。例えば「稚内」はアイヌ語で「冷たい水の出る川」を意味する言葉が語源となっており、自然の地形や特徴を反映した地名が各地に残されています。屯田兵は明治時代に北海道の開拓と北方の警備を兼ねて全国から送り込まれた兵士を指すため、先住民とは異なります。
問12	答え 3 対馬海流（暖流）の上を通る湿った空気が、北西の季節風によって運ばれてくるため	日本海側を流れる対馬海流は暖流であり、冬でも海水の温度が比較的高い状態にあります。この海上で発生した水蒸気を、大陸から吹き付ける冷たい北西の季節風が取り込み、北海道西側の山地にぶつかすることで雪として降らせます。このため、日本海側に面した地域では冬の降水量が多くなる特徴が見られます。
問13	答え 3 ユネスコ	知床の流氷が育む豊かな生態系や、屋久島の樹齢数千年を超える屋久杉などは、人類全体で守るべき価値があるとして世界遺産（自然遺産）に登録されました。こうした遺産の選定や保護を主導しているのがユネスコです。よく似た名称のユニセフ（国連児童基金）は、子供の権利保護や支援を目的とした組織であり、混同しないよう注意が必要です。
問14	答え 4 広大な土地や豊かな海から得られる農水産資源が豊富であり、原材料の調達が容易であるため	工業の立地はその地域の資源と深く関わっています。北海道はジャガイモやテンサイ、乳製品などの農産物、および沿岸・沖合で獲れる水産物が豊富です。これらを腐敗させずに効率よく加工するために、産地に近い場所で食料品工業が発達しました。その結果、全国平均と比較しても食料品工業への依存度が非常に高い産業構造となっています。